

# 同窓会報

発行者  
千葉県立富里高等学校同窓会  
千葉県富里市七栄181-1  
☎ 0476(92)1441  
題 字  
谷 平 友 紀(第26期生)  
印 刷  
(株)北 陽 ☎0476(24)3300

## 同窓会挨拶



同窓会会長

雨宮 真吾

さわやかな晴天とともに、平成27年の年明けを迎えました。会員のみなさまには益々ご清栄のこととお慶び申し上げますとともに、平素より同窓会活動にご理解とご尽力を賜り心より御礼を申し上げます。

同窓会長を仰せつかつております、9期生（1997年3月卒）の雨宮真吾でございます。

現在は成田市議会議員として成田市政に参画すると共に、当会役員をはじめとするみなさま方からのサポートを得ながら、前期に引き続き今期においても会長職を務めさせていただきます。

さて昨年は、歴史に残る大きな激動の一年ではなかったかと思えます。何といつても一番に取り上げなければならぬのが、「消費税5%から8%への引き上げ」だと思います。そしてまた外交・安全保障の面においては、中国・韓国とのより緊迫した関係です。

世界に前例がない、といわれるほど二〇年という長きにわたってわが国に停滞していたデフレレシジョン。昨年は、現政権による「デフレからの脱却」の2年目でした。今はまだその途（みち）を「まっしぐらに疾駆」している途次ですが、その成果を表す指標ともいえるべきものが円と株の市場価格だといわれています。円はこの1年で大きく下落し、ここ何日かは対ドルで120円近辺を前後しています。多くの経済学の教授や経済ジャーナリスト、それに企業経営者からも、円安速度が速すぎる、安くなり過ぎた、バランス的には110円位が良いのでは、などといった声が聞こえてきます。とはいえ、ここに至るの原油安という後押しもあり、輸出入国日本の基幹産業である自動車や機械産業といった輸出企業の業績が大幅に伸び、それに引きずられる形で国内の景気も上向き始めているようです。デフレスパイラルを断ち切るべく始動を始めたアベノミクス、日本経済の景気浮揚のためにも、第1、第2に続いて放たれた「第3の矢」が、的の中心に的中することを願っています。

さて次は、われわれの足元に目を戻してみますと、やはり隣接する成田市が昨年3月、東京圏の一員として国家戦略特区に指定されたことではないでしょうか。今回の特区

指定は全国で6か所あります。東京圏はそのうちのひとつであり、東京都、神奈川県、そして成田市と1都1県1市で構成されています。

成田市は戦略特区構想として2つテーマを掲げています。ひとつは「国際医療学園都市構想」であり、もうひとつが「エアポート都市構想」です。

国際医療学園都市構想とは、京成の公津の杜駅近くに新設される「国際医療福祉大学」と成田市がタッグを組み、国内や海外の医療機関と連携を図りながら、グローバルな視点で展開を図っていくというものです。また、エアポート都市構想では、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向けたハードとソフト面の整備が始まることを機に、「国際物流拠点としての整備」や「訪日外国人の来訪促進」、それにまた「スポーツツーリズムの推進」などを図ることにより、世界水準のビジネス拠点を確立していくというものです。

特にエアポート都市構想においては成田市が単独で成し遂げられるものではなく、周辺地域の協力は欠かすことのできないものです。成田空港を取り巻く市や町にとつても、この特区構想の実現は大きな影響を与えるものであるため、その進展にはこれからも注力していくつもりです。今年度27期生が卒業し、同窓生数も7889人となりました。同窓生が日本国内はもとより海外においても、さまざまなところで活躍しています。母校とは、遠くにおいて想うもの」という言葉があります。遠く離れた地で、勉学にそして運動にと青春の地を滾らした時を懐かしく思い出している言葉なのでしょう。その母校の輝きを一段と増すのが、同窓生の社会における努力の成果ではないでしょうか。同窓会といたしましても在校生の支援や同窓会員の懇親、そして富里高校のさらなる発展に向けて、今まで同様に尽力してまいれる所存であります。青春の熱き思いや夢を語り合った日々、夢中で取り組んだクラブ活動の思い出など、同窓生の絆をより一層深めるとともに、われわれの母校である富里高校がみなさまの心の拠り所となればと考えております。

同窓会には、世代を超えて幅広い付き合いが出来るという魅力があります。また、会員同士の絆、それによる支援といったこともございます。会員のみなさまにおかれましてはこれからは是非、お気軽にご出席いただければと思っております。

本年におきましても、同窓生はもとより本校教職員をはじめ関係各位のみなさまのご支援、ご協力を賜りながら着実に歩んでまいりますので、何卒ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

## お知らせ

今号から、富里高校のホームページからも会報誌を見る事が出来るようになりました。

本来なら、同窓会員の皆様にお届けすべき所ですが、一人でも多くの同窓生に見ていただきたく思い、このように形になりました。お近くに同窓生がいらっしゃいましたら、お知らせください。（富里高校ホームページをご覧ください）

## 新幹事のご紹介

【第二十七期生】

|              |
|--------------|
| 澤地 宏知さん（成田市） |
| 畑口 広貴さん（富里市） |
| 浅生 智さん（成田市）  |
| 青木 拓海さん（富里市） |
| 佐藤 珠穂さん（成田市） |
| 菊地 光司さん（富里市） |

新役員を支え、同窓会の発展にご協力をよろしくお願い致します。

## 同窓会総会のお知らせ

平成二十七年度は、

かさぎの祭文化の部当日

九月十九日（土）

開会時刻は後日通知

の予定です。

一人でも多くの同窓生が出席され、活発な総会になることを期待しております。お待ちしております。

## 同窓会の皆様へ

## 校長 斉田 秀一

私は、今年度より第十一代校長として着任しました。本校は、評判どおり同窓会の皆様方の母校愛をはじめ、保護者、後援会の皆様方、地域の方々から厚い御支援をいただいている学校だと痛感しました。創立二十九日目となる本校は、卒業生が七千八百八十九名となり、多くの方々が、社会で活躍されていると伺っています。

さて、着任にあたり富里高校は、『地域になくはない名門校』を目指しますと、新たな教育方針を掲げました。私が掲げた地域になくはない名門校とは、次の五つです。

- 一、自らの力で未来をきりひらく、たくましい人間を育成する学校（教育目標）
- 二、地域のために役立つことに喜びを感じる広い心を育成する学校（教育目標）
- 三、国際社会の中で、広く活躍できる積極的な人間を育成する学校（教育目標）
- 四、地域に居なくてはならない人間を育てる学校（教育活動）

五、豊富な活動体験とおして、広く活躍する人材を輩出する学校（教育環境です。本校自慢の校歌に「夢の翼広げ、この街を生きる」とあります。この詞のように、生徒一人ひとりが夢を持ち、その夢をつかむべく努力することで、地域に信頼され、地域と共に発展すると考えます。そのためには、「開かれた学校づくり」として、同窓会、保護者、後援会、地域の方々のご意見を伺いながら、学校のより良い環境づくりにも精一杯取り組みますので、今後とも、よろしくお願いいたします。

次に、部活動と進路状況等を御報告いたします。

## 一部活動

運動部では、陸上競技部が県高校総体（走高跳五位入賞）で関東大会出場、馬術競技とボウリングが、『長崎がんばらんか国体』に出場。馬術競技では、個人六位入賞、団体準優勝、JKJO全日本ジュニア空手道選手権大会では、70kg未満優勝及び文部科学大臣賞を受賞しました。

また、文化部では、ジャズオーケストラ部が東日本大会（東京五反田）、全国大会（静岡県浜松）に出場しました。その他の部も日々努力を積み重ね頑張っています。

## 二進路

今年度卒業生の進路ですが、卒業生二百三十三名中、同志社大商学部・國學院大経済学部・東海大情報通信等の大学、短大八十名、看護医療系二十五名を含む専門学校八十二名、就職は公務員五名（自衛官候補生五名）を含めた四十名となっています。二十七名は、現在受験等引き続き活動中です。（一月三十一日現在）。今後必ずべての生徒の進路実現に向けて応援してまいります。

## 三その他

創立三十周年記念事業に向けて実行委員会を立ち上げました。同窓会からも御支援、御協力をお願いすることになりますので、よろしく願っています。また、HPをリニューアルいたしました。日々の学校の活動や生徒の様子（文化祭・体育祭・修学旅行・芸術鑑賞会等々）が分かるように「富校通信」も掲載しております。HPには、同窓会の枠も設けてありますので是非、同窓生に、発信する手段として御活用ください。

終わりになりますが同窓会の皆様には、日頃より本校の教育活動に対し御理解、御協力、御支援を賜り心より感謝しております。今後とも学校と連携を図り、情報交換

を密にし、皆様が築きあげた良き伝統を継承して参りたいと思います。

## 台湾修学旅行

## 2学年主任 牛玖 好文

今年度の修学旅行は、昨年の韓国から台湾になり11月6日（木）～9日（日）の日程で二年生238名を11名の職員で引率して、事故等のトラブルなく無事終了する事が出来ました。海外修学旅行は二年目となりますが、昨年と行き先が異なり、不安な面も正直あったのが事実です。

今回の修学旅行の目的は、異国の文化に触れ、現地の高校生と交流を深める事により、国際的な視野を広げる事でした。事前指導として一年時には浅草周辺での海外旅行者との交流、二年時には四月より社会科職員を中心に日本と台湾の歴史的背景や現在の台湾の情報を生徒に伝える事によって、生徒達の修学旅行への目的意識を養いました。出発は、A B組が第1ターミナル、C Fが第2ターミナル集合となりましたが、トラブルなく台湾桃園空港に到着、その後すぐに市内見学。その後夕食から士林夜市を見学後ホテル着。二日目、三日目も行程はやや過密スケジュールでしたが、国内では味わう事が出来ない内容の濃い修学旅行でした。特に二日目の現地高校生との交流では、私達の予想を上回る盛大な歓迎を受け、生徒達も心に残る経験であったと思います。

この学年の修学旅行が台湾に決定した時は、日本と近隣諸国の間で政治的な摩擦がある中でしたので保護者の皆様にもご心配をおかけ致しました。事前指導をする中で、生徒達も過去の日本と他国の関係や現在の日本や近隣諸国の立場を知る事で、他人を尊重する気持ちや、平和を愛する心がいか



に大切かを理解する事が出来たのではないかと思います。最後に今回の修学旅行の様子を本校のホームページに掲載してあります。是非ご覧下さい。

## 近況報告

## 第9期生 中村 大海

私は現在、妻と二人の子どもと生活しています。最近、結婚してからしまい込んでいたバイクを整備し、七年ぶりにライダー復帰しました。仮面ライダーにハマッている子どもたちは、見たことのない父の勇姿に喜んでくれています。仕事面では、父の会社の事業承継の準備をしているところですが、不安なこともあります。前に進むしかないですね。また、富里の商工会青年部に所属しており、来年度の部長に就任することになりました。色々な企画を立ち上げて、商工業のみならず、富里をもっともっと活性化したいですね。色々なイベントに顔を出していますので、是非話しかけてみてください。

## 第14期生 小川 晃司

富里高校を卒業して父の経営する造園業





の跡を取り、今年で十三年になります。業態としては「個人庭の植木の手入れ、伐採、除草剤散布」等が主なのですが、縁があり数年前から母校である富里高校の手入れも担当させて頂いております。

今回、この原稿を提出するにあたり、同窓会報に初めて目を通して頂いたのですが、役員の方々に面識のある人が多く、驚いております。皆様それぞれ、各先輩方から依頼を受け就任されたかと存じますが、私自身も地元の消防団に在籍されていた大変お世話になった先輩からこの「近況報告」の話を頂き、有り難く思っております。

地元の活動として消防団や商工会青年部、七栄親子まつり実行委員等に参加しているのですが、ふとした拍子にそれらの活動を通して仕事の話を頂いたり、場合によってはそこで出会う方々から新たな取引先を紹介して頂く事もあれば、逆のパターンとして知り合いが探している業種に自分と面識のある人に丁度良い方が居れば仲介をして感謝して貰ったり、その様な「一見して面倒臭そう」というケースにこそ精力的に参加し続けてきた結果こそが、今の自分を形作る「財産」だと自負しております。現在の私と全く同じ状況、という方は居ないまでも少なからず似た環境の方で、これらの活動内容に興味を持って頂けましたら、是非とも声をかけて貰えればと思います。

## 第21期生 篠原 花織

幼少期からの夢だった保育士になり、四年が経とうとしています。憶れていた職業についていたものの、書類や残業の多さに驚き、この仕事は本当に自分に向いているのか悩んだこともありました。その度に子供達に支えられ、一緒に成長をしてきました。保育士の良いところは、子供の成長を六年間

一貫して見守ることができるところだと思っています。来年、私が初めて受け持ったクラスの子供達が卒園します。今まで行事の度に子供達の成長を感じてきましたが、卒園式の感動は今まで以上だろうと今から楽しみにしています。そんな私の今の夢は、自分の子どもを保育園に通わせることです。また一つ夢を叶えられるように、頑張りたいと思います。



## 第26期生 宮本 里菜

富里高校を卒業してもうすぐ一年が経とうとしています。

私は現在、植草学院短期大学（児童障害福祉専攻）に通っています。二年間で、保育士資格・幼稚園教諭二種免許が確実に取ることができるとして、勉強に実習にと大忙しです。課題にも追われ、辛いときもありますが、同じ夢を持つ友達と支え合い、励まし合いながら楽しい日々を送っています。先生方も元気で優しい人が多く、授業では楽しい手遊びや簡単なおもちゃ作り、スポーツレクリエーション、自分たちで計画した授業発表、障害についてなど、保育について専門的な知識を学んでいます。

後期に行った保育実習、特別支援学校の実習では、子供たちに対して先生方の熱い思いや、様々な支援を目の当たりにし、自分の中にはない新しい発見を得ることができました。

大学に入り、社会経験を積むたびに、人との関わり、礼儀、信頼性をたくさん学び、自分を見つめ直す機会も増えました。また、実習先での先生方と子供たちとの出会いも大切になっています。

今年で成人式を迎えるので、大人の第一

歩を踏み出せるよう、残り一年悔いのない大学生を送りたいです。

## かさぎの祭文化の部報告

生徒会担当 金澤 安宏

平成二十六年度かさぎの祭文化の部は、九月十九日に校内公開、二十日に一般公開を開催した。好天に恵まれて多数の一般客が来校して盛況だった。文化祭前、土日も来て立て看板の制作をしていた団体もあった。また、開会式では各団体がPRで楽しいパフォーマンスを披露した。看板やPRに比べてクラス企画がもう少し充実すると良いと感じた。縁日やアイス販売など同じような企画が多かった。そんな中、クラス企画の演劇、グラスハープの演奏、書道パフォーマンス、等、今まで無かった企画も登場した。来年度以降、さらに個性的な企画が増え、多彩な文化祭になって行くことを期待したい。何はともあれ、大きなトラブル等無く、平和な文化祭だったことで安堵した。卒業生が毎年多数来校して文化祭を盛り上げてくれます。母校愛を感じます。この紙面をお借りして卒業生に感謝を申し上げます。今後とも後輩の文化祭を温かく見守ってください。

## かさぎの祭体育の部報告

木内絵美子

平成二十六年十月二日（木）に天候にも恵まれ、無事に体育祭を実施することができました。開催にあたり、集団競技を取り入れ、協和の精神を育てるとともに、心身の健康と体力の増進への関心を高め、たくましい人間の育成を目指すことを目的とし、

## 原稿募集

クラス会、部活動のOB・OGの様子、卒業生の方々の活動の様子等、気軽にお寄せください。写真があると幸いです。

発行準備の都合上、一月中にお送り下さると有難いです。

（富高内同窓会事務局）

## 部活動の紹介

### 【陸上競技部】

- ◎平成26年度県高校総体
  - ・三年 中岡卓希 走高跳 5位入賞
  - ・三年 佐藤響暉 五千米 決勝進出
  - ・三年 土屋 遥 八百米 準決勝進出
- ◎平成26年度関東高校陸上競技大会
  - ・三年 中岡卓希 走高跳出場
- ◎平成26年度県新人陸上競技大会
  - ・一年 小幡海斗 走高跳 4位入賞
- ◎平成26年度県駅伝大会
  - ・男子18位
  - ・女子9位

## 千葉県高等学校 新人体育大会に出場して

一年E組 小幡 海斗



僕は、昨年の九月二十六、二十八日に行われた、千葉県高等学校新人体育大会に走り高跳びで出場しました。高校に入学して二回

目の県の大会ということで、あまり大会の雰囲気などに慣れることができず、緊張していました。ですが入賞することを目指して出場した大会だったので緊張に負けず頑張りました。その日の跳躍は絶好調で、自己ベストを上回る1m88cmを難なくクリアすることができました。そして次の高さは1m91cmで、自己ベストより6cmも高いものでした。跳んだこともない高さだったので、一本目の跳躍は失敗しました。ですが二本目の跳躍でクリアすることができました。この勢いのまま次の高さである1m94cmもクリアしたかったのですが、クリアすることができず、記録は1m91cmとなりました。順位的には4位となり、自分の予想を上回る順位だったので、とても嬉しかったです。あと一つ順位を上げられていれば関東大会に出場することができたのですが、残念ながら出場することはできませんでした。来シーズンは関東大会に出場してぜひ入賞したいです。

## 【ジャズオーケストラ部】

・京成バラ園学生コンサート  
・フェアウェルコンサート  
・ジャズフェスティバル in 富里  
・成田空港空の日フェスティバル  
・スチュアートジャズフェスティバル in 浜松  
優秀プレイヤー賞 田村七瀬

## 部活動外の活躍

### 【空手】全日本大会

三年A組 郷 遼久



11月22日に第8回JKJO全日本ジュニア空手道選手権大会が行われました。この大会に向けて毎日練習してきたので、絶対に勝つという気持ちを持って試合をしました。高校男子70キロ未満の部は30名が出場しました。1回戦から決勝まで5回戦を勝ち優勝することができました。苦しい場面も何度も乗り越えることができました。結果は全日本優勝と文部科学大臣賞を受賞しました。本当に支えてくれた方々に感謝しています。

この大会に向けて毎日練習してきたので、絶対に勝つという気持ちを持って試合をしました。高校男子70キロ未満の部は30名が出場しました。1回戦から決勝まで5回戦を勝ち優勝することができました。苦しい場面も何度も乗り越えることができました。結果は全日本優勝と文部科学大臣賞を受賞しました。本当に支えてくれた方々に感謝しています。

### 【馬術】長崎国体

三年A組 杉本 葵生

空手は2020年東京オリンピックの追加種目候補に選ばれています。将来は空手がオリンピック種目になりオリンピックの舞台で活躍できるようがんばっていききたいです。

私は、県大会、東北総体と順調に勝ち上がり長崎国体に福島県代表として出場しました。今年は長崎ということで、距離があるため、会場に着いた頃にはすでにヘトヘトでした。そんな中、国体が始まりました。私の出場した種目は、標準障害飛越競技、トップスコア競技、団体飛越競技の3種目でした。

早速初日、標準に出場しました。標準は少年競技の目玉なので、今年も錚々たるメンバーが揃っていました。私も気合いを入れた競技に臨み、入賞することができました。三日目には、トップスコアがあり、この競技はミスだけでしたがギリギリで入賞圏内に食い込むことができました。そして二日間かけて団体が行われました。

## 第18期生 那須 健吾 なす。の旅行記「今日もいい感じ」 「エパーグレス国立公園」



この日の天気は快晴(けどメッチャ暑いですが)、散策にはピッタリです!!  
ガイドさんの説明を聞きながら、進んでいきます。

公園内では、「アンヒंगा」と言う鳥を、よく見かけます。  
この鳥は水中に潜り魚を捕まえて浮上してから魚を食べるそうです。  
公園内の水はとても澄んでいてきれいです。



次は公園内の「ウェット・ワーク」を楽しみます。  
ここは、毒のある植物や蛇が出るかも知れないとのこと。  
そして・・・ワニも出るそうです。果たして無事に生還できるのでしょうか。  
注意事項をよく聞いて Let's GO!!  
辺りは、とても静か・・・  
鳥の鳴き声と、蚊の飛び音が聞こえてきます。



雰囲気は、「もののけ姫」の世界に入り込んだようです。

この記事の続きが気になる方は、  
なす。の旅行記「今日もいい感じ」で検索してみてください。

## 編集後記

富里高校の校歌といえば、皆さんご存じですね、青春の翼です。

校歌なのにタイトルがある、一度も富里高校の校名が出てこない、今まで聞いた校歌とは違い明るい曲で、卒業しても忘れられない、とても素晴らしい校歌です。

昨年、校歌を作っていた山口洋子先生が、残念ながらお亡くなりになりました。校歌を作っていた事に感謝いたしますとともに、ご冥福をお祈りします。(秋葉 孝之)

団体では予選から決勝まで順調に駒を進めていき一位まであと一歩のところまでいきましたが、0.02秒差で負けてしまいました。  
今年は自分の甘さを思い知らされる大会でした。この苦い経験をバネに将来、世界で活躍できる選手になりたいと思います。

## 【ボウリング】 全国高校対抗 ボウリング選手権大会

三年A組 水野 優亮

団体や全国高校選手権に並ぶ、高校生にとって大事な大会である全国高校対抗ボウリング選手権大会に今年も参加してきました。

今年も大会形式は同じでしたが、去年と違って予選はコンスタントに点数を伸ばしていき、見事2位で決勝トーナメントに進むことが出来ました。

決勝トーナメント一回戦は、予選7位の高校と対戦でした。出だしてこちらが少し遅れをとってしまいましたが、その後チャンスが来るのを待っていたのですが、相手がノリにノっていたこともあり、負けてしまいました。最終順位8位で終了してしまいました。

1ゲームなので、一瞬で勝負が決まってしまう、改めて勝負の難しさを痛感しました。